

三防設通信No30は、新型コロナウイルスの影響による活動自粛で、十分な記事が掲載できないため縮小版でお届けいたします。

## ■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会  
理事長 藤村 喜成

新年あけましておめでとうございます。

会員各位には、本格的なwithコロナの中ではありますが、新しい年をお健やかに迎えのことに拝察申し上げます。

2019年より続いたコロナ禍においても世の中は感染等に配慮しつつ様々なイベントも開催されるようになってきました。しかしながら、振り返るとコロナ禍に「ふれあい」が避けられ、地域の事業が全く開催されず、地域社会の「絆」が3年という時間の間に薄くなってしまったと思われた方も多いと思います。

もともとの社会問題として、過疎化による世帯数の減少・空き家の増加、少子高齢化での独居老人の増加・地域の担い手不足などが潜在的にあり、地域コミュニティの維持が大変難しく、結果防犯的な活動も減少が予測されます。

課題可決策としては、地域の担い手として一助に、防犯設備である「カメラ」の運用にあると思います。カメラに付随する画像認識、AI機能、場合によってはドローン搭載など防犯以外の活用方法ももうすぐ身近なものになりそうです。

当協会も、より一層県民の皆様の「安全・安心な生活」のため情報収集に努め、時代にあった防犯の情報を発信できるよう励んでまいりたいと存じます。

## ■ 協会の活動内容

### 1. 年賀寄付金配分事業「不審者の犯罪被害から子供を守るための調査及び安全講習事業」その3



交通安全点検



通学路危険箇所調査

令和2年度より協会では、日本郵便年賀寄付金配分事業のうち「青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業」に取り組んでおります。

4年間に亘り計画されている「活動・チャレンジプログラム」の3年目事業として、また、

令和4年全国地域安全運動の一環として津市

立藤水小学校区の危険箇所の調査及び通学路の交通安全点検調査を以下の通り実施しました。

- 1) 通学時間帯の通学路安全調査（令和4年10月13日（木）7:00～8:20）
- 2) 通学路危険箇所調査（令和4年10月13日（木）8:20～11:00）
- 3) 夜間の危険箇所調査および照度調査（令和4年11月24日（木）18:30～20:00）

前年度までの津市立南が丘小学校区・西が丘小学校区とは異なり、学校区の中央付近を国道23号線が縦断しており周辺道路を含めて非常に交通量が多いこと、海岸に面しており、特に夜間は人目につきにくいこと、地区内を水路が非常に多く走っていることが特徴的な地域であるため、特にこの点に留意し



三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

三重県防犯設備協会



<http://www.miebouhan.com/>

て調査を行いました。

今後は上記結果を調査報告書として纏めた後、関係者への配布及び藤水小学校3年生児童に対して防犯授業を令和5年初旬に予定しております。また、10月13日はNHK津放送局様にもご帯同頂き、当協会の活用内容について視聴者の皆様方に広くお伝えすることができました。

本調査に関して大変ご協力賜りました三重県警察様・三重県防犯協会連合会様・津市教育委員会様・藤水小学校及び地区関係者様をはじめとする皆様方に厚く御礼申し上げます。

(楠副理事長記)

## 2. 防犯スペシャリストスキルアップ研修



研修会の模様

新型コロナ禍で途切れていた防犯スペシャリストへのスキルアップ研修が3年ぶりに開催されました。

12月16日津駅前の第一ビル会議室でスペシャリストおよび一般会員の10名が参加して三重県環境生活部くらし・交通安全課中川主任様に講師をお願いして約1時間、三重県防犯カメラ設置運用ガイドラインの説明と、安全安心な三重のまちづくりアクションプログラムの防犯サポート事業者連携への取組の今後の展開について活発な議論、意見交換が行われました。

防犯カメラの普及促進についてはプライバシーの問題、設置表示の義務化のないこと、画像管理、設置後のメンテナンスの問題などの意見交換や設置に関して最低限の条例の必要性、また、個人向けの設置ガイドの必要性などが議論されました。

防犯サポート事業者連携については、現在の防犯ボランティアの高齢化や担い手不足への対応からも今後事業者が防犯活動に取り組む仕組みづくりの説明がありました。

(加藤理事記)

## 3. 名古屋での防犯設備士更新講習



防犯機器の展示・説明



更新講習の模様

11月12日名古屋ウイル愛知で中部地区の愛知、岐阜、三重共催で初めての防犯設備士対象の更新講習が開催され加藤が運営に参加しました。

午前中10時から12時まで防犯機器の展示が行われ、美和ロック、アイホン、TOA、日本防犯システム、NSK、テクノホライズンエルモカンパニーの6社がAI防犯カメラ、インターホン、電気錠など最新の防犯機器などの展示・説明があり、30名の防犯設備士が見学されました。

午後13時30分から15時まで愛知セルフガード協会の小林総合防犯設備士から更新講習テキストによる更新講習が行われました。

講習内容は、犯罪情勢、設備機器（出入管理設備、LED防犯灯）の情報更新の他、防犯カメラ特集として、4K/AHDカメラ、ネットワークの基礎、防犯カメラ画像と個人情報保護法との関係、施工など盛り沢山の内容となっています。

更新講習の参加者は51名で中部ブロック40名（愛知31、岐阜5、三重4）のほか、他の地区からは11名（沖縄、群馬、栃木、埼玉、長野、静岡、大阪各1名、東京、神奈川各2名）参加されました。

15時から16時40分まで地域協会主催のセミナーとして防犯設備士委員長の平野講師によるAI機能付き防犯カメラについてのテーマで最新鋭の機能を説明され意義深い講演となりました。

午前中の機器展示参加者へはレストランの食事券が、更新講習参加者へ窓のサッシへ装着する補助錠が渡されるなどきめ細かい配慮が行われました。

(加藤理事記)

## ■ 関連行事・イベント・その他

### 1. 日防設全国大会



全国大会の様相

令和4年11月11日 東京グランドホテルにおいて、「第17回都道府県防犯設備士（業）協会全国大会」が79名（25協会）の参加で盛大に開催されました。

片岡代表理事から協会挨拶があり、防犯設備士講習試験のIT化や、日防設が「認定個人情報保護団体」になること、新潟県が43番目の地域協会として発足したことなどが紹介されました。

引き続き日防設からの事業報告と地域協会（東京、群馬、宮城県）の活動、紹介が行われ、講演会は一級建築士・総合防犯設備士・防犯優良住宅分科会アドバイザー相川 隆様による『「無施錠を狙う侵入犯罪」・「住居侵入罪と住宅のタイプ」-裁判所の判例から-』をテーマに、住宅侵入罪の判例をデータベース化し分析した内容で講演いただきました。懇親会はコロナ禍ということもあり感染予防対策を講じた上で3年ぶりに実施され、旧交を温める久しぶりの機会となりました。

（藤村理事長記）

### 2. 令和4年度第2回 犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議



制度の説明をする松林理事

令和4年10月21日「令和4年度第2回安全で安心な三重のまちづくり推進会議」がJA三重健保会館にて開催されました。

最初に岩崎会長より、「みんなやりたがっている」、コロナでできなくなったことの一つに、人と人とのつながりがあり、人同士がつながることの重要性を再認識し、今回事業者連携として企業をベースにつながる制度設計を進めていくとごあいさつがありました。

また上野顧問より、日常を守るという観点で、今までなかった犯罪、国内での無差別な殺人、女性自衛隊員への性犯罪などに注視し、また、隣国からのミサイルや戦争の危機を外交にまかせるのではなく県民意識としてどう考えていくのかも必要との意見も出されました。

その後、安全安心まちづくりサポート事業（案）について、提案され、具体的な計画が説明協議されました。内容としては、防犯活動の課題である高齢化や担い手不足に対応するため地域に密着した事業者が積極的に防犯活動へ参画する仕組みづくりです。

また、「県民の体感治安向上についての取り組み」については、犯罪認知件数は戦後最小を更新し続けているにもかかわらず、体感治安は向上しないということが課題として挙げられ、防犯活動の「見える化」を進めることも対策として提案されました。

当協会から「防犯優良戸建住宅認定事業」について松林理事より事業説明をさせていただきました。貴重な会議時間の中、説明の機会をいただきありがとうございました。

（藤村理事長記）

### 3. 令和4年 地域安全・暴力追放三重県民大会で防犯機器を展示・説明



防犯機器の展示

10月6日13時から16時まで三重県総合文化センター大ホールで（公社）三重県防犯協会連合会、（公財）暴力追放三重県民センター、三重県警察の主催で地域安全・暴力追放県民大会が開催され、ロビーで防犯機器の展示と説明を行いました。

機器はパナソニックの最新のテレビドアホンや防犯カメラ、美和ロックからは錠前を展示しました。

当日は副知事、県警本部長も出席され、関係諸団体から約300名が参加され盛大に開催されました。第1部では防犯・暴力追放活動に功績のあった方の表彰と大会宣言が行われ、第2部の基調講演は県警本部生活安全企画課高濱課長補佐から「特殊詐欺の発生状況と対策について」の講演がありました。最後は県警音楽隊の演奏で閉会となりました。

（加藤理事記）

## ■ 総合防犯設備士受験のお勧め

総合防犯設備士の資格を取得された会員2名の方に受験の動機や受験までのご苦労をお尋ねしました。現在、全国で444名、三重県では10名が取得されております。

会員の皆さまにぜひ上級の総合防犯設備士受験をお勧めいたします。

受験についてはA認定とB認定という2種類の受験制度があります。

A認定 防犯設備士資格取得後3年の実務経験で受験でき、筆記試験と面接口頭試験

B認定 防犯設備士資格取得後6年以上の実務経験の他、地域協会からの推薦、受験セミナーの受講及び事前レポートの提出、半日の現地講習と確認テスト、当日の午後に口述試験

### 1. B認定で今年取得された 松林 秀典 総合防犯設備士 第22-0469 (三防設理事)

総合防犯設備士には最新知識のアップデートがしっかりできるというメリットがあり、日本の防犯活動のリーダー的存在として活躍していくことができるものとなっています。

B認定は所定の書類審査のための書類の準備は協会の方でご協力できますし、レポートについても提出前にご相談等もお受けさせていただきます。

私自身、受験させていただいて、日防設の片岡代表理事をはじめとする普段の活動ではなかなかお話しさせていただく機会を持つことのできない方々や、他地域の皆さんと接点を持たせていただき、講習においては貴重な情報を得ることができたことは自分自身のスキルアップだけでなく、人間的にも成長できるものでありましたので、受験資格をお持ちの皆さんにおかれましてもぜひ受験をお勧めさせていただきます。

### 2. A認定で令和1年に取得された 掃部 紀彦 総合防犯設備士 第19-0408号 (三防設会員)

当時、自分が勤める会社も業績が振るわず、自身も工場の交替制で先が見通せない日々で自分に自信があまり持てない頃でした。

そんな折にその年の三防設総会に総合防犯士会の永井理事が来られ総合防犯設備士の紹介を熱弁されており、とても興味を惹かれたものです。

元々各種資格に関して取得できるチャンスがあれば、取得すべきという考えで未来の自分のために今受験するべきと、その年に総合防犯設備士の受験に挑戦することにしました。

自分の場合、まず予備知識なしで過去問を一度確認しました結果絶望的に難しいと思いましたが、それでも合格したい！と自分自身に無理やり喝を入れ、辛い試験勉強を乗りきる活力にしました。

総合防犯設備士に合格したら、あの辛い勉強期間を乗り越えたのだと、自分に自信が持てるようになります。

## ■ 会員動向

会員プロフィール紹介



柴山 博昭 防犯設備士 第18-29214号

勤務先 オールリリーフ

電話 059-261-7780 / 090-1295-7810

E-mail bouhan-bousai@allrelief.jp

趣味 キャンプ、映画、お酒、出張先での御朱印集め

「安心・安全・快適」な暮らしのお手伝いができるよう日々活動しています。防犯設備協会会員としての活動にも積極的に参加させて頂きますので、皆様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## ■ お知らせ

日防設の紹介、防犯設備士取得のお勧めがYouTubeに掲載されました



防犯設備士取得のお勧め



日防設の紹介

## ■ 事務局からのご連絡

・次回発行予定 三防設通信は第31号を2023年8月にお届けの予定です。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0131 三重県津市あのかつ台4-7-7 (三重電業(株)内)

TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586